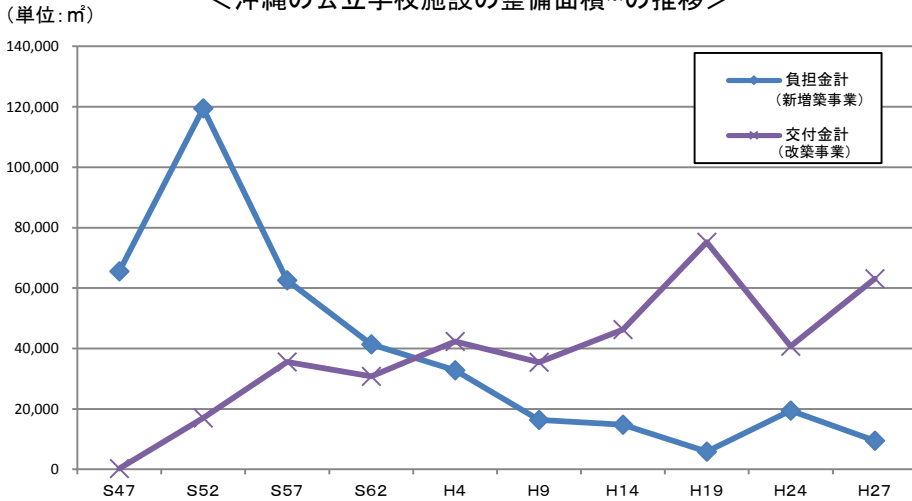


9-1. 沖縄における学校の整備について

公立学校の整備状況

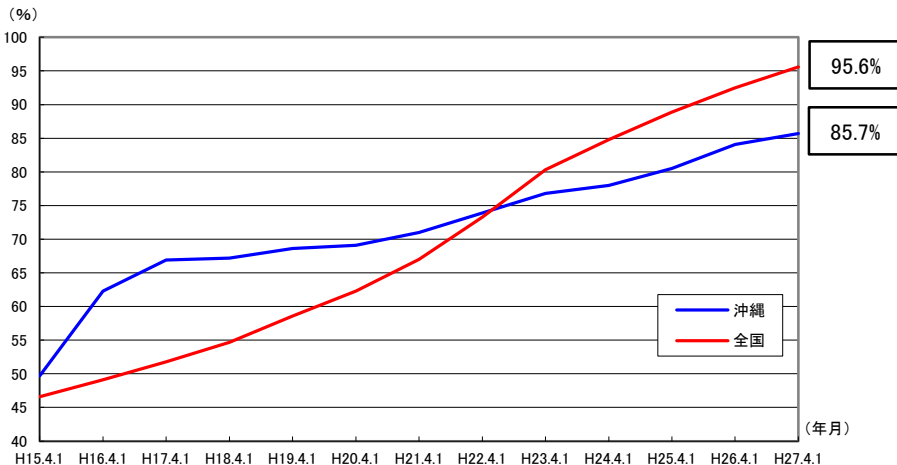
(出典: 沖縄県教育庁調べ)

＜沖縄の公立学校施設の整備面積※の推移＞



※交付決定の根拠となる予算上の整備面積であり、実際の整備面積と異なる場合がある。

＜公立小中学校の耐震化率の推移＞

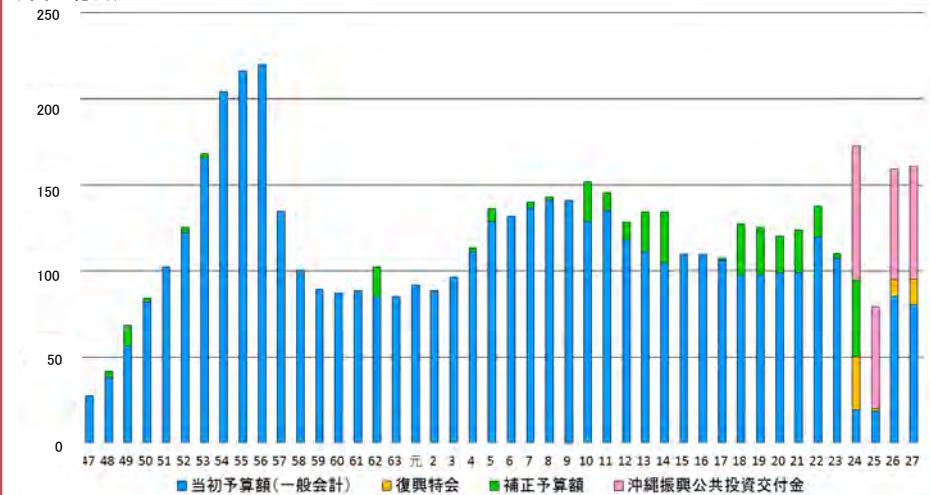


(出典: 文部科学省「公立学校施設の耐震改修状況調査」)

公立学校の整備予算

(単位: 億円)

＜沖縄の公立学校施設整備費の推移＞



高等教育に関する支援

○沖縄工業高等専門学校

内閣府において、国立沖縄工業高等専門学校の設置のための施設整備に関わる予算を平成14～16年度に措置。(総額約117億円)

※土地購入費は文部科学省において別途計上

○名桜大学

内閣府において、名桜大学の敷地内にある人材育成センターの整備に係る予算を平成9～10年度に措置。

(総額約16億円。施設の所有者: 名護市、施設の管理者: 名桜大学。)

○沖縄国際大学

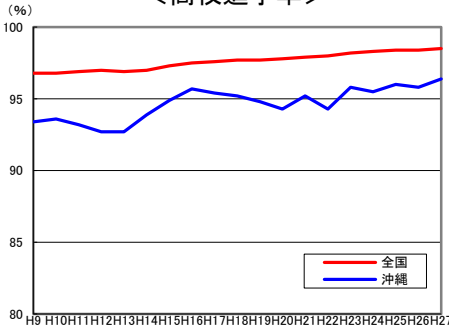
昭和47年2月の沖縄国際大学の設置認可に合わせ、国は昭和47、48の両年度にわたり各5億円の補助を行った。

9-2. 沖縄における人材育成について

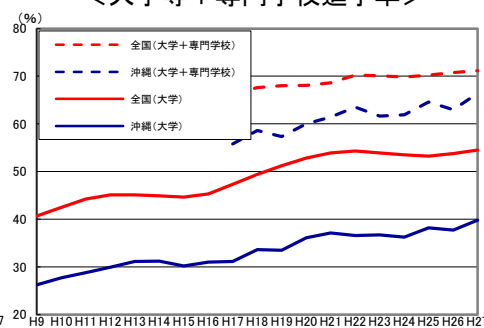
教育分野

(出典:文部科学省「学校基本調査」)

<高校進学率>



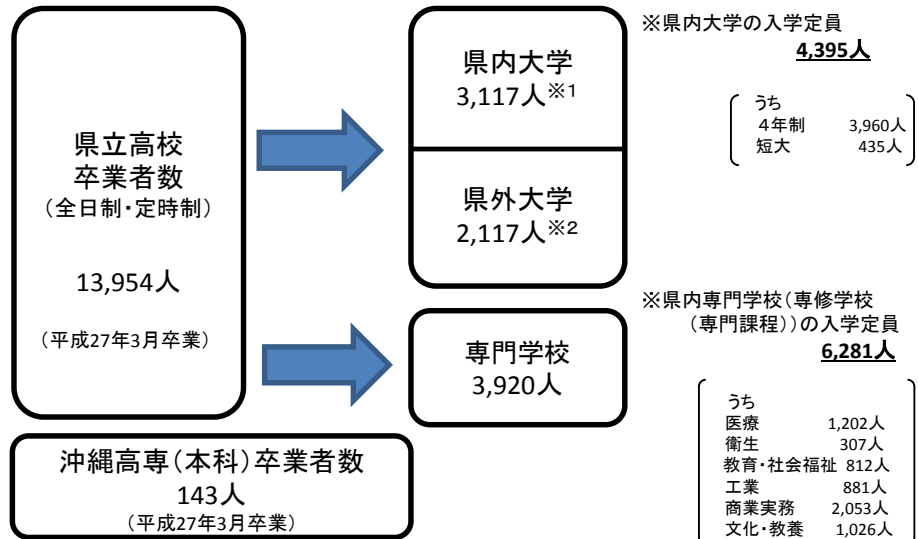
<大学等+専門学校進学率>



※専門学校とは、専修学校(専門課程)を指す。

※「大学等+専門学校進学率」は、平成17年以降について、文部科学省の「学校基本調査」に基づく「大学進学率」及び「専門学校進学率」を合算して算出。

<沖縄の高校生等の進路>

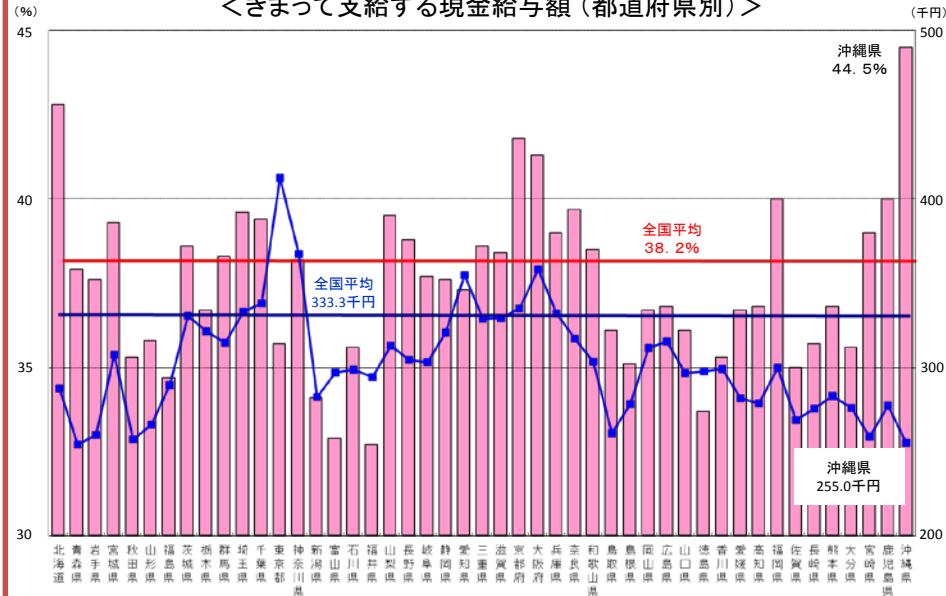


(出典:文部科学省「学校基本調査」、沖縄高等専門学校ホームページ、県教育庁調べより作成)
 なお、※1、※2は県教育庁調べのデータであり、確定値ではない。

雇用分野

(出典:総務省「就業構造基本調査結果」)

<非正規の職員・従業員の割合(都道府県別)> <きまって支給する現金給与額(都道府県別)>



○沖縄の産業別の非正規職員・従業員の割合(平成24年) ※【 】内は全国の割合
 製造業36.8%【26.3%】、卸売業・小売業59.2%【50.0%】
 宿泊業・飲食サービス業71.0%【73.3%】、医療・福祉39.7%【39.1%】

<離職率>

	平成24年	平成25年	平成26年
全国	14.8%	15.6%	15.5%
沖縄	18.9%(8位)	22.4%(1位)	11.7%(45位)

○沖縄の産業別離職率(平成26年):製造業9.3%【10.6%】、卸売業・小売業13.9%【14.1%】
 宿泊業・飲食サービス業13.8%【31.4%】、医療・福祉10.8%【15.7%】

<在職年数>

	平成25年	平成26年	平成27年
全国	11.9年	12.1年	12.1年
沖縄	9.7年(47位)	9.6年(47位)	10.0年(47位)

○沖縄の産業別在職年数(平成27年):製造業12.0年【14.5年】、卸売業・小売業10.9年【12.9年】
 宿泊業・飲食サービス業7.5年【8.6年】、医療・福祉8.7年【8.3年】

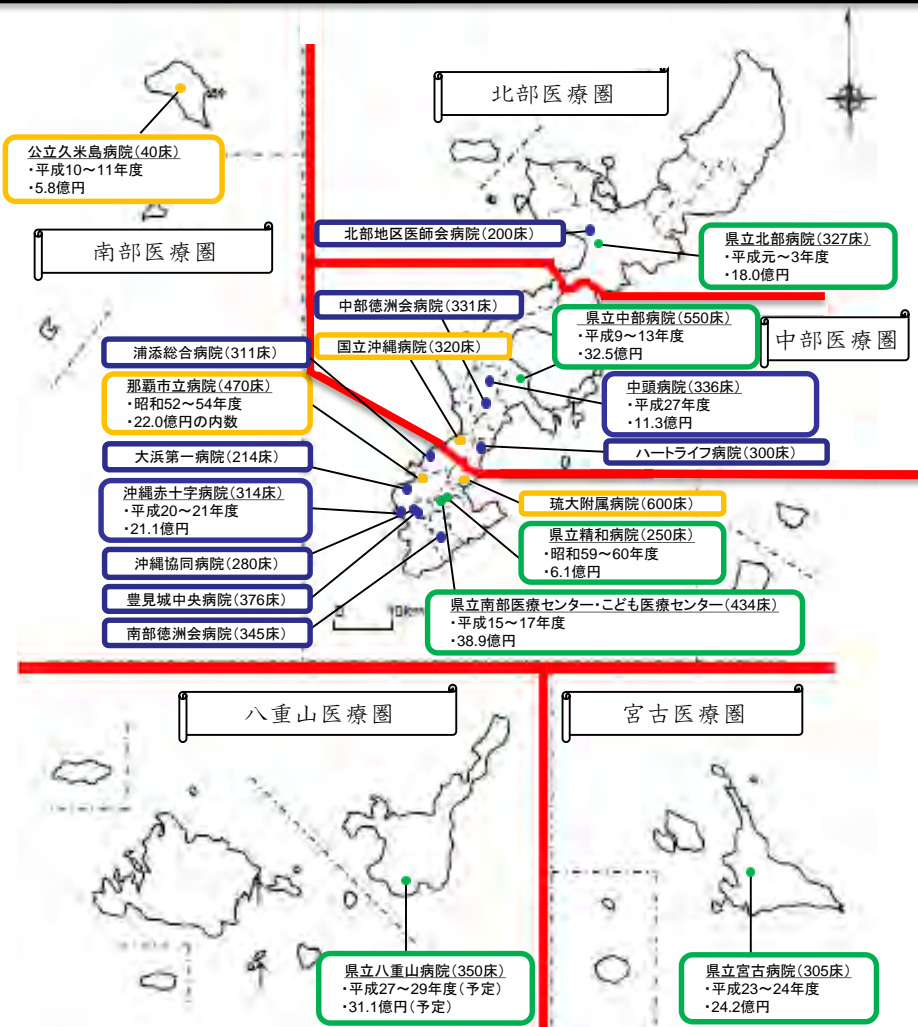
(出典:厚生労働省「雇用動向調査」及び「賃金構造基本統計調査」)

9-3. 沖縄における医療提供体制の整備について①

主な病院と国庫補助による整備状況

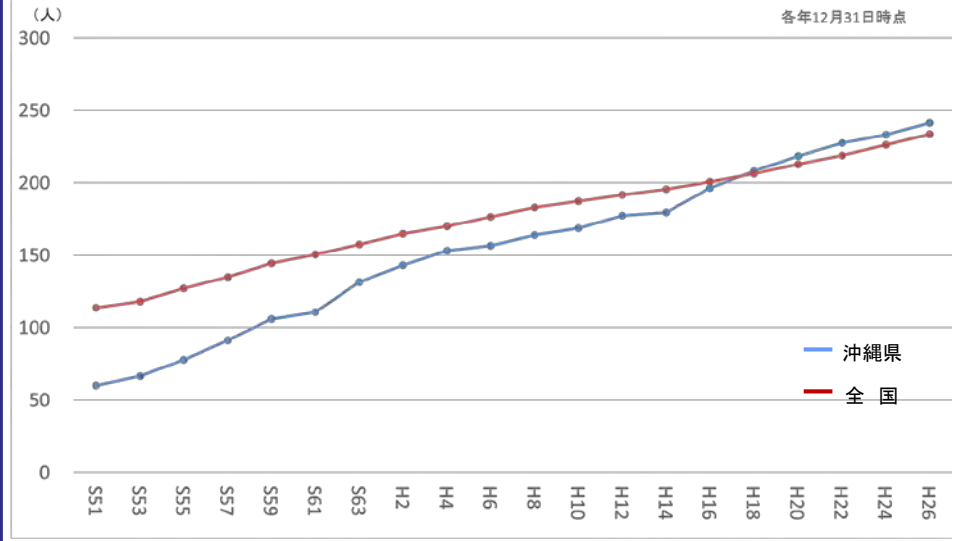
- 県立病院
- 国公立病院 (県立を除く)
- 私立病院等

※県立病院以外は、原則として沖縄県の資料で一般病床が200床以上である病院を記載。
※5億円以上の国庫補助が確認できた病院は、整備年度と国庫補助額を記入。



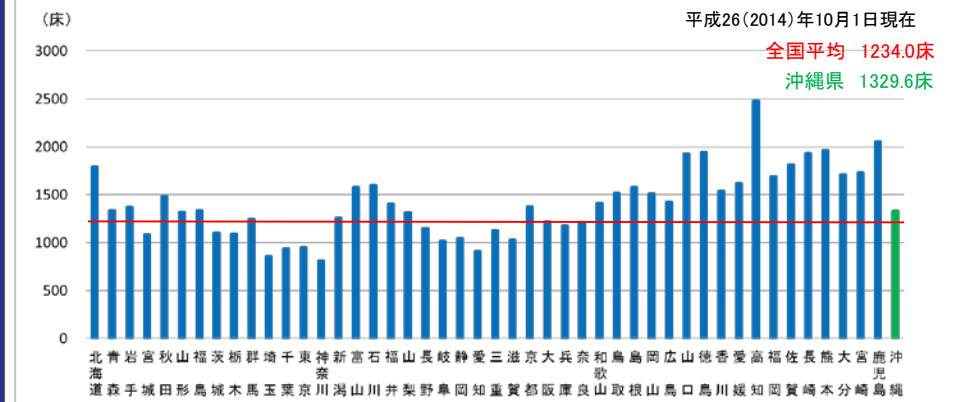
(出典: 沖縄県保健医療部資料、沖縄開発庁「沖縄開発二十年史」)

医師数(人口10万人対)の推移



(出典: 厚生労働省「平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査」及び沖縄県保健医療部調べ)

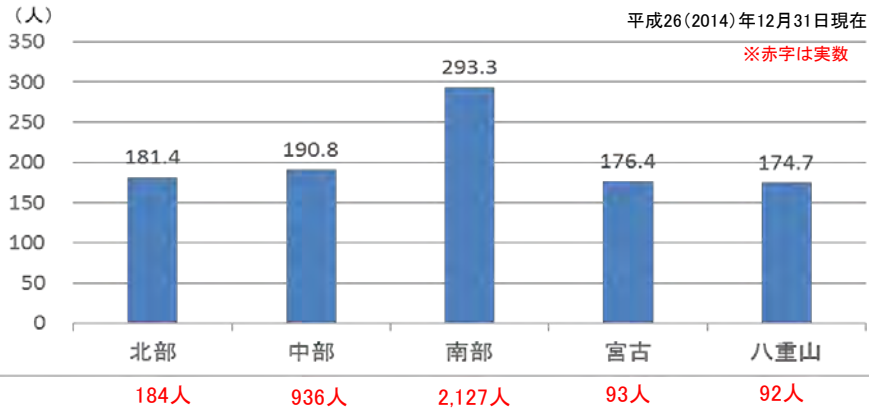
都道府県別病床数(人口10万人対)



(出典: 厚生労働省「平成26年医療施設(静態・動態)調査」)

9-4. 沖縄における医療提供体制の整備について②

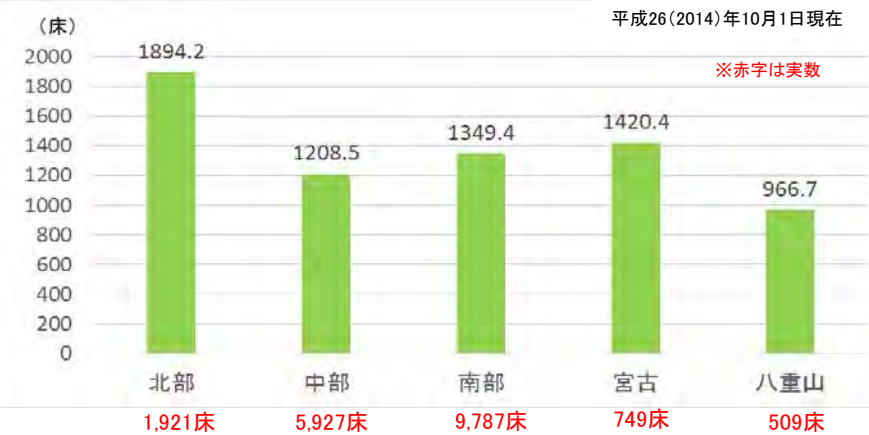
医療圏別医師数(人口10万人対)



▶琉球大学医学部附属病院(392人)が西原町から宜野湾市に現状のまま移転すると、中部は270.8人、南部は239.2人となる。

(出典:沖縄県保健医療部調べ及び琉球大学医学部附属病院への聞き取りによる)

医療圏別病床数(人口10万人対)

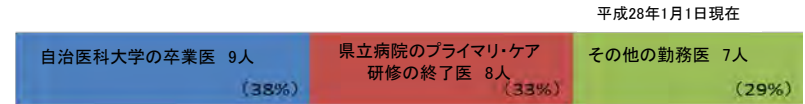


▶琉球大学医学部附属病院(600床)が西原町から宜野湾市に現状のまま移転すると、中部は1330.8床、南部は1266.7床となる。

(出典:沖縄県保健医療部調べ)

へき地医療について

<離島へき地診療所の医師配置状況>



▶その他の勤務医7人は、地域医療振興協会、一般財団法人琉球生命済生会琉生病院、公益社団法人北部地区医師会からの派遣など。

(出典:沖縄県保健医療部調べ)

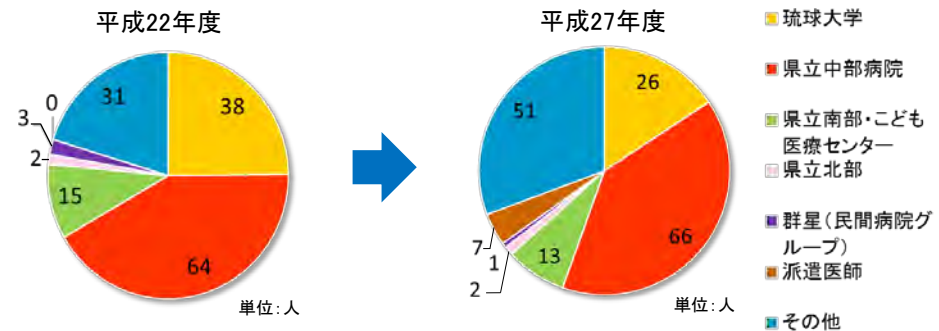
<へき地医療拠点病院による代診医の派遣実績>

へき地医療拠点病院名	指定年月日	代診医派遣年間実績日数
沖縄県立北部病院	平成14年 7月 9日	40日
沖縄県立中部病院	平成14年 7月 9日	113日
沖縄県立宮古病院	平成14年 7月 9日	25日
沖縄県立八重山病院	平成14年 7月 9日	88日
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	平成18年 4月 1日	179日
社会医療法人仁愛会 浦添総合病院	平成19年 4月 6日	0日
琉球大学医学部附属病院	平成23年 3月24日	0日

※へき地医療拠点病院とは、へき地診療所等への代診医等の派遣、へき地従事者に対する研修、遠隔診療支援等の診療支援事業等が実施可能な病院として都道府県が指定した病院をいう。

(出典:沖縄県保健医療部調べ)

<県立北部・宮古・八重山病院の医師の出身別割合の変化>



(出典:沖縄県病院事業局調べ)